

(19) 日本国特許庁 (JP)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開 2000-184475

(P 2000-184475 A)

(43) 公開日 平成12年6月30日 (2000. 6. 30)

(51) Int. Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード (参考)
H 0 4 Q 9/00	3 0 1	H 0 4 Q 9/00 3.0 1	E 5C056
H 0 4 N 5/00		H 0 4 N 5/00	A 5K048

審査請求 未請求 請求項の数 7

O L

(全 10 頁)

(21) 出願番号 特願平10-357262

(22) 出願日 平成10年12月16日 (1998. 12. 16)

(71) 出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72) 発明者 小林 誠司

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内

(74) 代理人 100082131

弁理士 稲本 義雄

F ターム (参考) 5C056 BA01 BA08 BA10 CA08 CA15

5K048 AA04 AA13 BA03 DA02 DB04

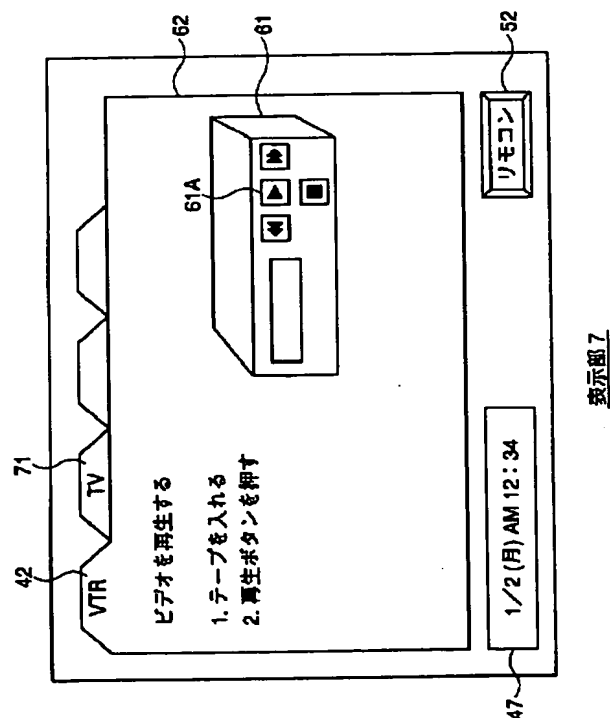
EA11 FB10 FB11 FB15 HA04

(54) 【発明の名称】 リモートコントロール装置および方法、並びに情報処理装置および方法

## (57) 【要約】

【課題】 リモコン装置において、電子機器の機能を容易に把握できるようにする。

【解決手段】 リモコン装置の表示部 7 に、取扱説明書の内容として、マニュアル表示画面 6 2 が表示される。そこには、ユーザの操作で拡大、縮小、回転可能な V T R の 3 次元モデル 6 1 が表示される。3 次元モデル 6 1 の再生ボタン 6 1 A が操作されると、その操作に対応する信号が V T R に出力され、V T R が再生を開始する。リモコンキー 5 2 を選択することにより、表示部 7 にリモコン表示画面が表示される。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 1 または複数の電子機器をリモートコントロールするリモートコントロール装置において、前記電子機器の取扱説明を取り込む取込手段と、前記取込手段により取り込まれた前記電子機器の取扱説明を表示する表示手段と、前記表示手段に表示された前記取扱説明に対応して所定の入力を行う入力手段と、前記入力手段からの入力に対応する信号を前記電子機器に送信する送信手段とを備えることを特徴とするリモートコントロール装置。

【請求項 2】 前記入力手段は前記取扱説明を、記録媒体またはネットワークを介して入力することを特徴とする請求項 1 に記載のリモートコントロール装置。

【請求項 3】 1 または複数の電子機器をリモートコントロールするリモートコントロール方法において、前記電子機器の取扱説明を取り込む取込ステップと、前記取込ステップで取り込まれた前記電子機器の取扱説明を表示する表示ステップと、前記表示ステップに表示された前記取扱説明に対応して所定の入力を行う入力ステップと、前記入力ステップでの入力に対応する信号を前記電子機器に送信する送信ステップとを含むことを特徴とするリモートコントロール方法。

【請求項 4】 1 または複数の電子機器をリモートコントロールするリモートコントロール装置において、前記電子機器に関する 3 次元画像を生成する生成手段と、前記生成手段により生成された前記 3 次元画像を表示する表示手段と、前記表示手段に表示された 3 次元画像に対応して所定の入力を行う入力手段と、前記入力手段からの入力に対応する信号を前記電子機器に送信する送信手段とを備えることを特徴とするリモートコントロール装置。

【請求項 5】 1 または複数の電子機器をリモートコントロールするリモートコントロール方法において、前記電子機器に関する 3 次元画像を生成する生成ステップと、前記生成ステップで生成された前記 3 次元画像を表示する表示ステップと、前記表示ステップに表示された 3 次元画像に対応して所定の入力を行う入力ステップと、前記入力ステップでの入力に対応する信号を前記電子機器に送信する送信ステップとを含むことを特徴とするリモートコントロール方法。

【請求項 6】 1 または複数の電子機器の取扱説明を取り込む取込手段と、前記取込手段により取り込まれた前記電子機器の取扱説明を表示する表示手段と、

前記電子機器に関する 3 次元画像を生成し、前記表示手段に表示させる生成手段とを備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 7】 1 または複数の電子機器の取扱説明を取り込む取込ステップと、前記取込ステップで取り込まれた前記電子機器の取扱説明を表示する表示ステップと、前記電子機器に関する 3 次元画像を生成し、前記表示ステップに表示させる生成ステップとを含むことを特徴とする情報処理方法。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、リモートコントロール装置および方法、並びに情報処理装置および方法に関し、特に、電子機器の取扱説明書の内容をリモートコントロール装置に表示することにより、電子機器を容易にリモートコントロールすることができるようにしたリモートコントロール装置および方法、並びに情報処理装置および方法に関する。

## 【0002】

【従来の技術】従来の電子機器（例えば、テレビジョン受像機、VTR（Video Tape Recorder）など）の取扱説明書は、ユーザに対して、電子機器に付属して印刷物の形態で配布されていた。その他の方法として、取扱説明書の内容を電子化して、予め電子機器に記憶させておいたり、記録媒体（例えば、フロッピーディスク、CD-ROM など）に記録させて、その記録媒体が配布される場合がある。

【0003】取扱説明書の内容を電子化して、予め電子機器に記憶させておく方法は、例えば、特開平 9-55895 号公報に開示されている。この方法では、テレビジョン受像機の取扱説明書の内容の一部が電子化されて、テレビジョン受像機に記憶されており、テレビジョン受像機の画面に、ユーザが操作する機能または取扱説明の内容が表示される。この表示は、メニュー形式で OSD（On Screen Display）（オンスクリーン表示）されており、ユーザは、リモートコントロール装置（以下、リモコン装置と称する）を操作して、画面に表示されたボタンを選択し、所定の指令を入力している。

【0004】コンピュータのソフトウェアでは、その取扱説明書の内容が、記録媒体（例えば、フロッピーディスク、CD-ROM など）に記録され、記録媒体が配布される。ユーザは、コンピュータの画面に取扱説明の内容を表示させて、キーワードによる検索などを行って、簡単に操作方法を知ることができる。

【0005】また、電子機器のリモコン装置は、各電子機器に付属されており、家庭内において、その数は多い。そのため、ある電子機器を操作するとき、所望のリモコン装置が見つからない状況も珍しくなく、このような状況を改善するために、複数の電子機器を、1 つの

モコン装置で操作できる「マルチリモコン」と呼ばれるものがある。この「マルチリモコン」は、例えば、特開平6-86365号公報に開示されている。

#### 【0006】

【発明が解決しようとする課題】最近の電子機器は、多種多様な機能を備えるものが多く、ユーザは、取扱説明書を読まないと、機能を把握することが難しくなっている。しかも、取扱説明書は頁数も多く、所望の機能が記載された頁を見つけることが難しかったり、取扱説明書の記載では、電子機器の操作ボタンや接続端子の位置が判りにくい場合がある。また、取扱説明書の説明では、ユーザの操作により、電子機器の扉が開いたり、電子機器に具備された表示部（液晶パネルなど）の表示内容が変化したりする様子が判りにくい場合がある。

【0007】電子化された取扱説明書は、電子化された内容を画面に表示する必要があるため、その用途は、テレビジョン受像機、またはコンピュータソフトウェアなどに限定されている。テレビジョン受像機の画面を使用した、OSDによる取扱説明は、ユーザが鑑賞している映像に重ねて、OSDのメニューが表示されるため、その映像が見ずらくなる。

【0008】「マルチリモコン」と呼ばれるリモコン装置においては、電子機器などの機能の増加に伴って複雑化、大型化し、また液晶パネルなどの表示装置を具備して、複雑化、大型化を抑制した場合でも、ユーザは、リモコン装置のボタンの操作方法や機能を把握するために取扱説明書を参照しなければならない。

【0009】本発明はこのような状況に鑑みてなされたものであり、複数の電子機器のリモートコントロール装置を、1つのリモートコントロール装置に集約し、取扱説明書の内容をリモートコントロール装置に表示するようにし、もって、ユーザが容易に電子機器の機能を把握して、リモートコントロールできるようにするものである。

#### 【0010】

【課題を解決するための手段】請求項1に記載のリモートコントロール装置は、1または複数の電子機器をリモートコントロールするリモートコントロール装置において、電子機器の取扱説明を取り込む取込手段と、取込手段により取り込まれた電子機器の取扱説明を表示する表示手段と、表示手段に表示された取扱説明に対応して所定の入力を行う入力手段と、入力手段からの入力に対応する信号を電子機器に送信する送信手段とを備えることを特徴とする。

【0011】請求項3に記載のリモートコントロール方法は、1または複数の電子機器をリモートコントロールするリモートコントロール方法において、電子機器の取扱説明を取り込む取込ステップと、取込ステップで取り込まれた電子機器の取扱説明を表示する表示ステップと、表示ステップに表示された取扱説明に対応して所定

の入力を行う入力ステップと、入力ステップでの入力に対応する信号を電子機器に送信する送信ステップとを含むことを特徴とする。

【0012】請求項4に記載のリモートコントロール装置は、1または複数の電子機器をリモートコントロールするリモートコントロール装置において、電子機器に関する3次元画像を生成する生成手段と、生成手段により生成された3次元画像を表示する表示手段と、表示手段に表示された3次元画像に対応して所定の入力を行う入力手段と、入力手段からの入力に対応する信号を電子機器に送信する送信手段とを備えることを特徴とする。

【0013】請求項5に記載のリモートコントロール方法は、1または複数の電子機器をリモートコントロールするリモートコントロール方法において、電子機器に関する3次元画像を生成する生成ステップと、生成ステップで生成された3次元画像を表示する表示ステップと、表示ステップに表示された3次元画像に対応して所定の入力を行う入力ステップと、入力ステップでの入力に対応する信号を電子機器に送信する送信ステップとを含むことを特徴とする。

【0014】請求項6に記載の情報処理装置は、1または複数の電子機器の取扱説明を取り込む取込手段と、取込手段により取り込まれた電子機器の取扱説明を表示する表示手段と、電子機器に関する3次元画像を生成し、表示手段に表示させる生成手段とを備えることを特徴とする。

【0015】請求項7に記載の情報処理方法は、1または複数の電子機器の取扱説明を取り込む取込ステップと、取込ステップで取り込まれた電子機器の取扱説明を表示する表示ステップと、電子機器に関する3次元画像を生成し、表示ステップに表示させる生成ステップとを含むことを特徴とする。

【0016】請求項1に記載のリモートコントロール装置、および請求項3に記載のリモートコントロール方法においては、電子機器の取扱説明が取り込まれて表示され、表示された取扱説明に対応して所定の入力が行われ、入力に対応する信号が電子機器に送信される。

【0017】請求項4に記載のリモートコントロール装置、および請求項5に記載のリモートコントロール方法においては、電子機器に関する3次元画像が生成されて表示され、表示された3次元画像に対応して所定の入力が行われ、入力に対応する信号が電子機器に送信される。

【0018】請求項6に記載の情報処理装置、および請求項7に記載の情報処理方法においては、1または複数の電子機器の取扱説明が取り込まれて表示され、電子機器に関する3次元画像が生成されて表示される。

#### 【0019】

【発明の実施の形態】以下に本発明の実施の形態を説明するが、特許請求の範囲に記載の発明の各手段と以下の

10

20

30

40

50

実施の形態との対応関係を明らかにするために、各手段後の括弧内に、対応する実施の形態（但し一例）を付加して本発明の特徴を記述すると、次のようになる。但し勿論この記載は、各手段を記載したものに限定することを意味するものではない。

【0020】すなわち、請求項1に記載のリモートコントロール装置は、1または複数の電子機器をリモートコントロールするリモートコントロール装置において、電子機器の取扱説明を取り込む取込手段（例えば、図2のインタフェース部34）と、取込手段により取り込まれた電子機器の取扱説明を表示する表示手段（例えば、図2の表示部7）と、表示手段に表示された取扱説明に対応して所定の入力を行う入力手段（例えば、図2の入力部3）と、入力手段からの入力に対応する信号を電子機器に送信する送信手段（例えば、図2の送信部6）とを備えることを特徴とする。

【0021】請求項4に記載のリモートコントロール装置は、1または複数の電子機器をリモートコントロールするリモートコントロール装置において、電子機器に関する3次元画像を生成する生成手段（例えば、図2の画像生成部32）と、生成手段により生成された3次元画像を表示する表示手段（例えば、図2に表示部7）と、表示手段に表示された3次元画像に対応して所定の入力を行う入力手段（例えば、図2の入力部3）と、入力手段からの入力に対応する信号を電子機器に送信する送信手段（例えば、図2の送信部6）とを備えることを特徴とする。

【0022】請求項6に記載の情報処理装置は、1または複数の電子機器の取扱説明を取り込む取込手段（例えば、図2のインタフェース部34）と、取込手段により取り込まれた電子機器の取扱説明を表示する表示手段（例えば、図2の表示部7）と、電子機器に関する3次元画像を生成し、表示手段に表示させる生成手段（例えば、図2の画像生成部32）とを備えることを特徴とする。

【0023】図1は、本発明を適用したリモコン装置1の構成例を表した外観図であり、図2は、リモコン装置1の構成例を示すブロック図である。リモコン装置1の側面には、記録媒体11を挿入する挿入口2が設けられている。

【0024】入力部3は、例えば十字カーソルキーなどで構成され、表示部7に表示されている内容を、ユーザが選択するとき操作される。入力部3はまた、トラックボール、ライトペン、またはタッチパネルなどで構成しても良い。キーパッド4、またはキーパッド5は、ユーザが良く使う機能（例えば、VTRにおける再生、停止機能）を、簡単に操作できるようにするために、リモコン装置1に予め設けられているものである。キーパッド4、またはキーパッド5には、ユーザにより、特定の機能が割り当てられる。このキーパッド4、またはキーパ

ッド5の形状は図1の形状（3角形）に限らず、また、その数量も、図1に示すように、2個である必要はない。つまり、キーパッド4、またはキーパッド5は、ユーザの操作の簡便性を満足すれば良く、なくても良い。

【0025】送信部6は、例えば、赤外線送信機で構成され、入力部3、キーパッド4、またはキーパッド5の操作に対応するリモートコントロール信号（VTR再生信号）を対象電子機器（VTR）に送信する。

【0026】表示部7は、例えば、液晶表示装置などで構成され、電子機器の取扱説明情報（従来の取扱説明書の内容）、および操作画面（従来のリモコン装置の操作部分に相当する）が表示される。

【0027】音声出力部8は、例えばスピーカを含み、取扱説明情報に音声データが含まれているとき、その音声データを出力する。なお、リモコン装置1は、音声出力部8がない構成でもよい。

【0028】記録媒体11は、例えば、フラッシュメモリを用いたカード型メモリ、フロッピーディスク、またはCD-ROMなどで構成され、電子機器の関連機器との配線、初期設定操作、故障時の操作などの取扱説明情報データ、および電子機器をリモコン装置1で操作する場合に必要な操作情報データ（以下、これらを個々に区別する必要がないとき、単に、取扱説明情報データとも記述する）が、予め決められたフォーマットで記録されている。記録媒体11は、必要なデータが予め記録された状態で、電子機器に付属して配布されるか、または通信ネットワークに接続されたデータサーバから必要なデータのダウンロードを受けて、記録する。この場合、例えば、電子機器に、ID（Identification）番号が付与されて、ユーザに配布される。ユーザは、インタフェース部34から、通信ネットワークを介して、電子機器のメーカーなどが設置しているデータサーバへ、ID番号を使用してアクセスし、データサーバからデータを、リモコン装置1にダウンロードする。

【0029】記録媒体11に記録されている電子機器の取扱説明情報データは、文字情報、画像情報、音声情報、および3次元情報などを含んだマルチメディア情報である。また、取扱説明情報データにおいては、電子機器をリモートコントロールするためのリモートコントロール信号（例えば、VTRの再生信号）が、その対応する項目（例えば、表示部7に表示されているVTRの再生ボタン）に対応づけられている。

【0030】プロセッサ31は、インタフェース部34から入力された取扱説明情報データを読み込み、必要に応じて、メモリ33に記憶させる。プロセッサ31は、取扱説明情報データに基づいて、表示部7に表示する画像の画像データ（文字情報を含む）を、画像生成部32に出力するとともに、音声データを音声出力部8に出力する。また、プロセッサ31は、ユーザにより入力部3、キーパッド4、またはキーパッド5が操作されたと

き、その操作に対応して、電子機器を制御する信号を送信部 6 に出力する。

【0031】さらに、プロセッサ 31 は、ユーザにより、入力部 3、キーパッド 4、またはキーパッド 5 から選択された信号が、すでに表示部 7、または音声出力部 8 から出力した情報と対応しないとき（例えば、VTR の再生手順の取扱説明画面を表示しているとき、ユーザが VTR の停止キーを選択したときなど）、必要に応じて、文字、画像、または音声情報を生成し、表示部 7、または音声出力部 8 に出力し、ユーザに対してガイダンス情報を提供する。

【0032】画像生成部 32 は、プロセッサ 31 から入力された文字、画像データに基づき 2 次元、または 3 次元の画像を生成して、表示部 7 に出力する。また、画像生成部 32 は、プロセッサ 31 からの画像データに動画データ（例えば、コピー機の紙詰まりを回復するときの、コピー機の扉の開閉操作、レバーの操作などの一連の回復手順のシミュレーション）が含まれている場合、その動画データをコンピュータグラフィックス機能を用いて処理し、表示部 7 に出力する。

【0033】メモリ 33 は、複数の電子機器の取扱説明情報データを、十分に記憶できる記憶容量を有し、プロセッサ 31 から入力された取扱説明情報データを適宜記憶する。

【0034】インタフェース部 34 は、電子機器の電子化された取扱説明情報を、記録媒体 11 からリモコン装置 1 に、入力するインタフェース処理を行う。インタフェース部 34 は、例えば記録媒体 11 が、カード型メモリの場合はメモリインタフェース装置となり、フロッピーディスクの場合はフロッピーディスクドライブとなる。また、記録媒体 11 が、ネットワークに接続されたデータサーバから、取扱説明情報がダウンロードされる伝送媒体の場合、インタフェース部 34 は、モデムやイーサネットインタフェースなどの標準ネットワークインタフェース装置となる。

【0035】次に、リモコン装置 1 の操作を、図 3 のフローチャートを参照して説明する。ユーザが電子機器 A（例えば、VTR）と電子機器 B（例えば、テレビジョン受像機）を有しているとき、リモコン装置 1 の準備として、ユーザは、VTR の取扱説明情報データが電子化されて記録されている記録媒体 a（例えば、フロッピーディスク）と、テレビジョン受像機の取扱説明情報データが電子化されて記録されている記録媒体 b（例えば、フロッピーディスク）を、挿入口 2 から、それぞれ順番に、リモコン装置 1 のインタフェース部 34（例えば、フロッピーディスクドライブ）に装着して、それぞれの取扱説明情報データを、リモコン装置 1 にダウンロードする。このダウンロード処理により、リモコン装置 1 のメモリ 33 に、VTR とテレビジョン受像機の取扱説明情報データが記憶される。

【0036】このとき、ステップ S1 で、プロセッサ 31 は、画像生成部 32 を制御し、取扱説明情報データが記憶された電子機器の名称を、機器名タグに表示した画像を生成させ、表示部 7 に表示させる。これにより、例えば、図 4 に示すような画像が表示部 7 に表示される。図 4 の例では、VTR の機器名タグ 42 「VTR」の他に、テレビジョン受像機の機器名タグ 71 「TV」が表示されている。この状態で、ユーザは、操作しようとする電子機器（例えば、VTR）の機器名タグ（図 4 における VTR の機器名タグ 42、またはテレビジョン受像機（TV）の機器名タグ 71）を、入力部 3（十字カーソルキー）を操作することで選択する。ステップ S2 において、リモコン装置 1 のプロセッサ 31 は、ステップ S1 で、入力部 3 から入力された機器名タグに対応する電子機器のリモコン表示画面データを、メモリ 33 から読み出し、画像生成部 32 に供給して、表示部 7 に表示させる。

【0037】例えば、初期状態において、テレビジョン受像機のリモコン表示画面が表示されている状態で、ユーザが VTR の機器名タグ 42 を選択すると、図 4 に示すように、VTR のリモコン表示画面 41 が表示された状態となる。

【0038】リモコン表示画面 41 には、従来の VTR のリモコン装置における操作ボタンと同様の内容が表示される。このリモコン表示画面 41 のテンキー 43 は、数字などが入力されるとき操作される。電源キー 44 は、VTR の電源をオン、またはオフするとき操作される。入力切替キー 45 は、VTR への入力信号を、VTR に接続された別の機器からの信号に切り替える（例えば、録画するとき、VTR への入力信号を、テレビジョン受像機（図 4 の LINE1）から別の VTR（例えば LINE2（図示せず））に切り替える）とき操作される。操作キー 46 は、VTR の再生、停止、巻戻し、早送り、ポーズ、または録画するとき操作される。時計表示部 47 には、録画予約などをするとき参照される時刻が表示される。マニュアル表示キー 48（図 4 で「？」の記号が表示されたキー）は、表示部 7 の表示を、リモコン表示画面 41 からマニュアル表示画面（取扱説明情報の表示画面）に切替えるとき操作される。

【0039】ステップ S3 において、ユーザは、ステップ S2 で表示されたリモコン表示画面 41（図 4 の表示画面）では、VTR の操作が判らない場合などに、マニュアル表示画面が必要か否かを判定する。マニュアル表示画面が必要であると判断したとき、ステップ S4 に移り、ユーザは、入力部 3（十字カーソルキー）を操作して、表示部 7 のリモコン表示画面 41（図 4）のマニュアル表示キー 48 を選択する。このとき、プロセッサ 31 は、メモリ 33 からマニュアル表示画面の画面データを読み出し、画像生成部 32 に出力し、表示部 7 に表示させる。これにより、表示部 7 に、図 5 に示すようなマ

ニユアル表示画面が表示される。

【0040】図5は、マニュアル表示画面の目次画面51を表しており、取扱説明項目として「テレビとの接続」、「カセットテープの出し入れ」、「ビデオを再生する」、および「テレビを録画する」が表示されている。また、表示部7の表示を、マニュアル表示画面からリモコン表示画面に切替える、リモコン表示キー52が表示される。プロセッサ31は、リモコン表示キー52が選択されたとき、表示部7の表示を、マニュアル表示画面からリモコン表示画面に、瞬時に切替える。

【0041】ユーザは、ステップS5で、表示部7に表示された、マニュアル表示画面の目次画面51から、所望の取扱説明項目（例えば、「ビデオを再生する」）を入力部3（十字カーソルキー）を操作することで選択する。ステップS5において、プロセッサ31は、入力部3で選択された取扱説明項目「ビデオを再生する」に基づき、メモリ33から「ビデオを再生する」の表示画面データを読み出し、画像生成部32に出力し、表示部7にビデオ再生の取扱説明画面62（図6）を表示させる。ユーザは、このビデオ再生の取扱説明画面62により、VTRの操作方法を確認することができる。

【0042】図6のビデオ再生の取扱説明画面62には、ビデオ再生手順1「テープを入れる」と、ビデオ再生手順2「再生ボタンを押す」とともに、操作を判りやすくするために、VTRの3次元モデル61が表示される。ここで、ユーザにより、ビデオ再生手順2「再生ボタンを押す」が入力部3（十字カーソルキー）を操作することで選択されると、VTRの3次元モデル61における再生ボタン61Aが点灯し、ユーザに操作を促す。なお、ユーザは、VTRの3次元モデル61を、入力部3（十字カーソルキー）を操作することにより、拡大縮小したり、任意の方向に回転させたりすることができる。この3次元モデル61は、実際のVTRに対応しているので、ユーザは、各ボタンの位置、形状、色などを、正確に知ることができる。

【0043】ステップS5で、VTRの操作方法を確認したユーザは、ステップS6に移り、ビデオ再生の取扱説明画面62で、ビデオ再生手順2「再生ボタンを押す」を選択したことにより点灯している、VTRの3次元モデル61の再生ボタン61Aを入力部3（十字カーソルキー）を操作して選択する。

【0044】ステップS3でマニュアル表示を必要としないと判断したユーザは、ステップS7で、リモコン表示画面41（図4）の再生ボタン46Aを入力部3（十字カーソルキー）を操作して選択する。

【0045】ステップS6でユーザにより選択されたVTRの3次元モデル61の再生ボタン61Aが操作されるか、またはステップS7でユーザにより選択されたリモコン表示画面41の再生ボタン46Aが選択されると、ステップS8において、プロセッサ31は、送信部

6を制御して、VTRに再生を指示するコマンドを出力させる。VTRはこのコマンドを受信したとき、それに対応して、再生を開始する。

【0046】このように、リモコン装置1をステップS7で、通常のリモコン装置として使用することができるだけでなく、ステップS6で、取扱説明中のボタンが操作されたとき、対応する動作を、その電子機器に実際に実行させるようにしたので、ユーザは、電子機器の取扱いを、より正確に理解することが可能となる。

10 【0047】以上のステップS1乃至S8の処理により、ユーザは、リモコン装置1の表示部7に表示されるリモコン表示画面41、またはビデオ再生の取扱説明画面62の再生ボタンを選択して、VTRの再生をリモートコントロールすることができる。また、ユーザにより、例えば、VTRの再生の機能が、リモコン装置1のキーパッド4に予め割り当てられている場合、ユーザは、キーパッド4を操作することにより、VTRの再生を、リモコン装置1でリモートコントロールすることができる。

20 【0048】図7は、図5の取扱説明項目で、「テレビとの接続」が選択されたときの、表示部7に表示される取扱説明画面63の例を表している。テレビ接続の取扱説明画面63には、テレビ接続手順1「アンテナを接続」と、テレビ接続手順2「AVケーブルを接続」とともに、接続を判りやすくするために、VTRの3次元モデル61が表示される。ここで、ユーザにより、テレビ接続手順2「AVケーブルを接続」が入力部3（十字カーソルキー）で選択されると、VTRの3次元モデル61における、AVケーブルの接続端子61Bがマーク71で指示される。なお、ユーザは、VTRの3次元モデル61を、入力部3（十字カーソルキー）を操作することにより、拡大縮小したり、任意の方向に回転させたりすることができるため、AVケーブルの接続端子を、容易に把握することができる（図7のVTRの3次元モデル61は、図6のVTRの3次元モデル61が回転させられて、VTRの背面が表示されたものである）。

40 【0049】VTRとテレビジョン受像機のコードの接続（配線）は、装置の背面側で行われる。従って、図7に示すような画像を、テレビジョン受像機に表示させると、その画像がテレビジョン受像機の正面に表示されるので、ユーザは、その画像を見ながら、端子の位置を確認することが困難になる。しかしながら、ユーザは、リモコン装置1を持って装置の背面側に移動することができるので、図7に示す画像をリモコン装置1に表示させると、ユーザは、端子の位置を容易に確認することができる。

50 【0050】また、リモコン装置1に電子機器C（例えば、コピー機）の取扱説明情報データが記憶されているとき、ユーザはコピー機が紙詰まりを起こしたとき、リモコン装置1の表示部7に、コピー機の紙詰まり状態を

回復するときの手順（コピー機の扉の開閉操作、レバーの操作などの一連の回復手順）のシミュレーションを表示させることができる。ユーザは、このシミュレーションを見ることにより、取扱説明書の記載では正確に把握することが難しい回復手順を、予め把握することができ、実際に回復するときの誤操作などを防ぐことができる。

【0051】なお、前述したシミュレーション画像（取扱説明内容を含む）は、コピー機に設置される表示部に表示してもよい。

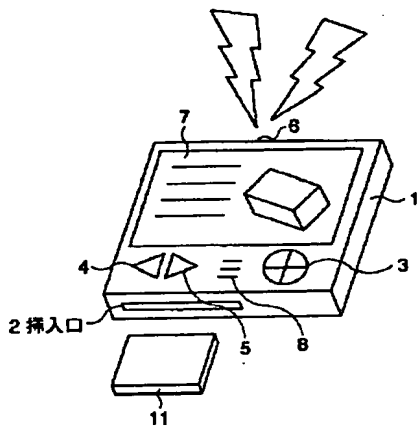
#### 【0052】

【発明の効果】以上のように、請求項1に記載のリモートコントロール装置、および請求項3に記載のリモートコントロール方法によれば、1または複数の電子機器の取扱説明をリモートコントロール装置に表示するようにしたので、複雑な取扱いを、容易に、かつ、確実に理解することが可能となる。

【0053】請求項4に記載のリモートコントロール装置、および請求項5に記載のリモートコントロール方法によれば、1または複数の電子機器に関する3次元画像をリモートコントロール装置に表示するようにしたので、電子機器のボタン、接続端子の位置などを、迅速、かつ、確実に把握することができる。

【0054】請求項6に記載の情報処理装置、および請求項7に記載の情報処理方法によれば、情報処理装置

【図1】



に、電子機器の取扱説明と3次元画像を表示するようにしたので、電子機器を操作するとき、操作により変化する形状などを、予め把握することができ、誤操作を防止することができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明を適用したリモートコントロール装置1の外観の構成例を表す斜視図である。

【図2】図1のリモートコントロール装置1の内部の構成例を示すブロック図である。

10 【図3】図1のリモートコントロール装置1の操作を説明するフローチャートである。

【図4】図1の表示部7に表示されるリモコン表示画面の表示例を示す図である。

【図5】図1の表示部7に表示されるマニュアル表示画面の表示例を示す図である。

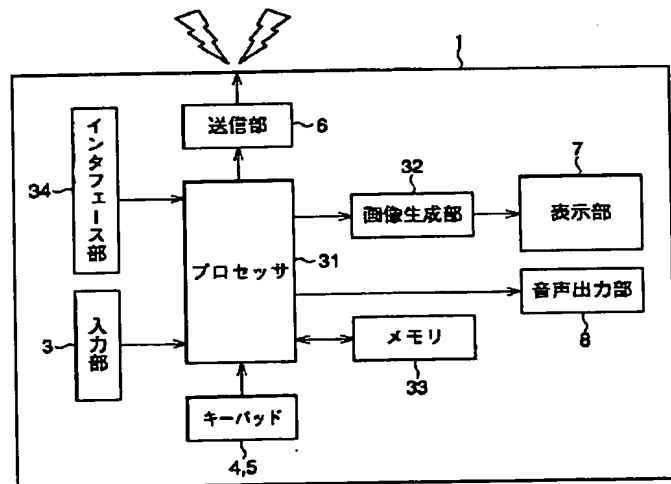
【図6】図1の表示部7に表示されるマニュアル表示画面の他の表示例を示す図である。

【図7】図1の表示部7に表示されるマニュアル表示画面の他の表示例を示す図である。

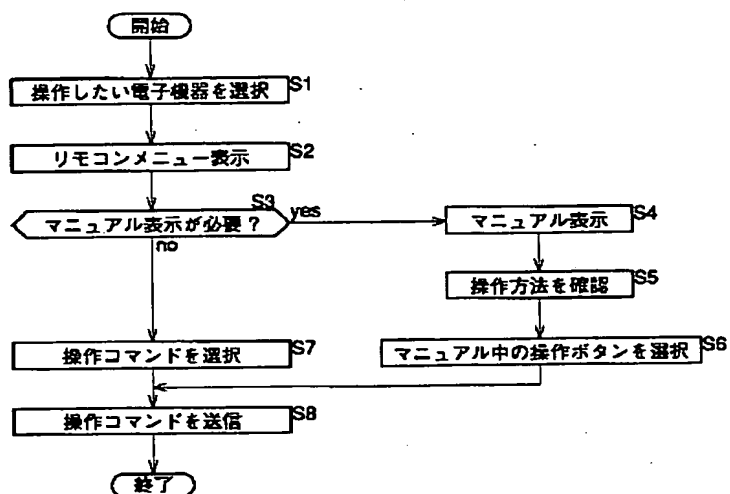
#### 20 【符号の説明】

1 リモコン装置, 2 挿入口, 3 入力部,  
4, 5 キーパッド, 6 送信部, 7 表示部, 8  
音声出力部, 11 記録媒体, 31 プロセッ  
サ, 32 画像生成部, 33 メモリ, 34 イン  
タフェース部

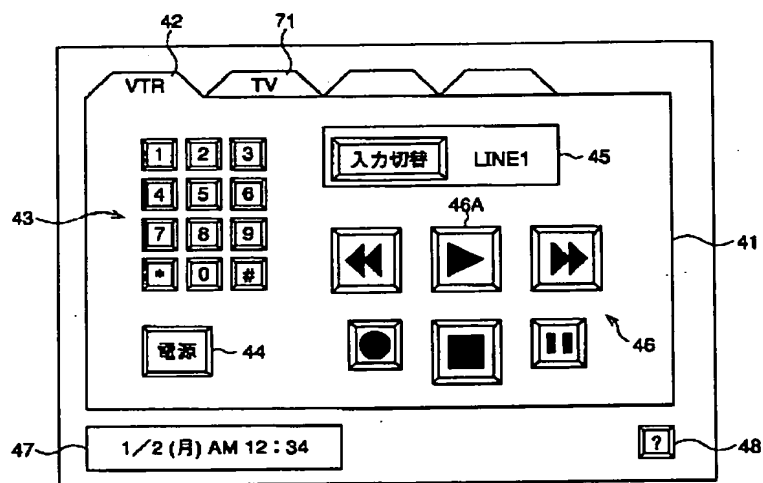
【図2】



【図3】



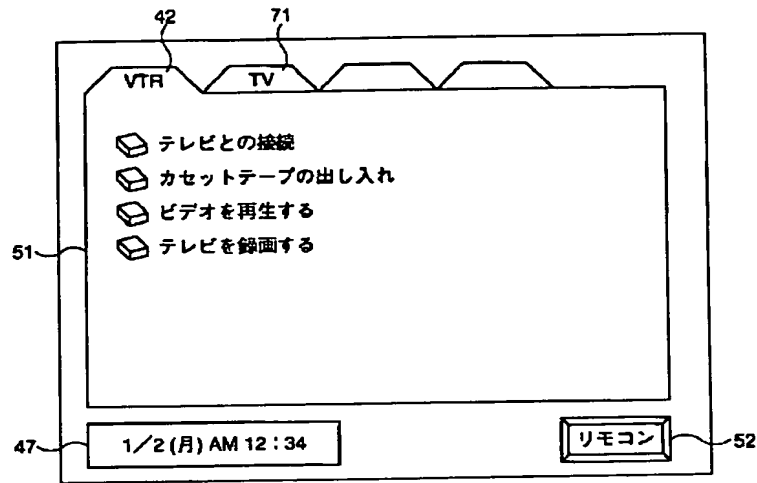
【図4】



表示部7

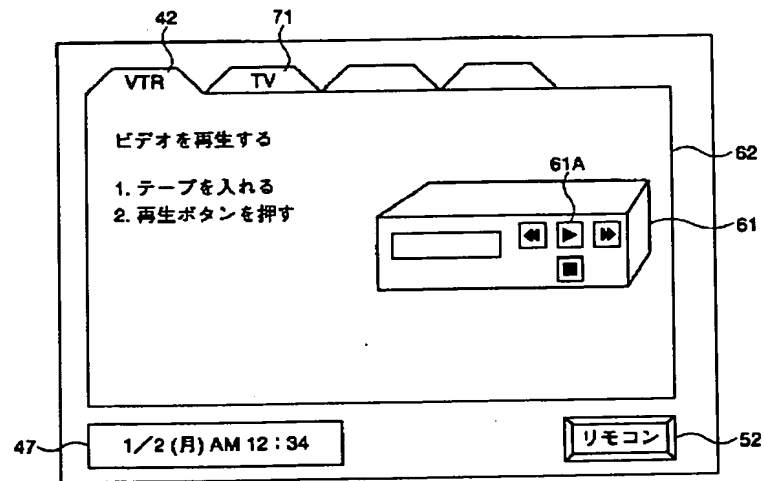


【図5】



表示部7

【図6】



表示部7

### 表示部 7